

【取組内容⑤】 その他（個に応じた補充学習を支援するためのドリルアプリの活用）

本年度の取組：デジタルドリルを活用して、個に応じた補充学習を支援する。

【個に応じた支援につなげる】

- ◇ 1年数学科では、年度途中より家庭学習においてデジタルドリルの問題を活用することにした。プリント作成・印刷よりも、どんな解答をしているか、どこでつまづいているか、何回同じ問題にチャレンジしているか等を履歴で確認して、個に応じた支援をおこなうことに時間をかけるようにした。
- ◇ 2年国語科では、授業の導入場面（授業のウォーミングアップ）と終末場面（学習内容の確かめ）でデジタルドリルを活用した。

【家庭での活用を推進するための生徒証の工夫】

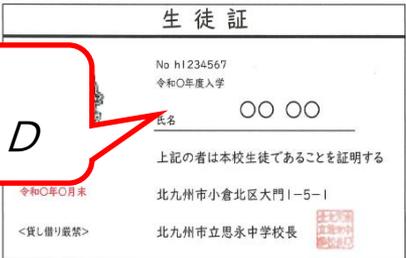
生徒番号は
タブレットのID

裏面にデジタルドリルの二次元コードを印刷することで、家庭の端末での活用を促す。

ドリルアプリ







2学期末に実施した生徒アンケート「タブレットやパソコンを使った学習の中で印象に残ったもの（楽しかった・便利だった・やってよかった、など）」について記述する問いに対して「調べ学習」「栽培の記録（技術）」「プレゼンテーションの作成」とともに、「デジタルドリル」についても記述があった。自らの課題を踏まえて「書く活動（プリント学習）」も含め、主体的に補充学習に取り組むことができるよう、今後も個に応じた支援を充実させたい。